

「デザインラボつむぐ」デザイン・動画制作のご依頼募集中！

ハートツリーの自主運営事業「デザインラボつむぐ」では、デザイン・動画制作をリーズナブルな価格でお届けしています。「自分で作るの難しい」「制作コストを抑えたい」という方にぴったりのサービスです。

制作を行うのは、就労準備支援・サポステ事業などで必要なスキルを学び、磨いてきたワーカーたち。働くことに不安があった若者たちが、自分のスキルを活かして働く「実践の場」へと一歩踏み出しました。

経験豊富なスタッフのサポートを受けながら、チームで仕事に取り組んでいきます。

【制作メニューのご案内】

- デザイン制作
- 動画制作
- 名刺・イベントチラシ
- PR動画・講演会動画

お仕事のご依頼・お問い合わせは以下の URL、または QR コードからお願いします。

<https://heart-tree.org/activity/tumugu/>



編集後記

相談支援の仕事の中で、支援する側の自分が悩んだり、迷ったり、疲れたりすることがあります。そんな時、「酒井先生ならどうおっしゃるだろう」と、不意に先生のお顔を思い出して、近くにおられるような気持ちになります。先生のお気持ちに触れたくて、お書きになった文章やインタビュー記事などを探していました。

「ひきこもりは自分の身を守るためにとった手段であると私たちは理解しています。『ひきこもりという行動をとった青年を受け入れ、その行動を生き方のひとつとして認めていける社会』であればいいと思います。」

このお言葉を見つけた時、「ハートツリー」は、酒井先生の真のやさしさから溢れた「願い」であったのだと感じ、胸がいっぱいになりました。

地本裕子



酒井滋子前理事長のご逝去を悼んで

理事長 松下泰子

特定非営利活動法人ハートツリーの創設者である酒井滋子前理事長が、今年1月3日93歳でご逝去されました。謹んでご冥福を心からお祈り申し上げます。

酒井先生は、1970年4月から約20年間県立高等学校で教鞭をとられていました。1991年に退職され、その後、田辺・西牟婁教育相談センターで不登校生の相談員として10年間勤められました。

その間、不登校の生徒たちが進路未決定のまま中学校を卒業して行く姿を見、行く場所のない彼ら彼女らに居場所を作りたいと活動を始められました。そして、田辺

市や県、障がい者の福祉団体、不登校の親の会等の方々との協力を得ながら、2002年によく居場所の開所に至りました。その後、2013年まで当法人の理事長としてひきこもりや生きづらさを抱える青年たちのため、誠心誠意尽力されました。このことにより、当法人の若者の自立支援の事業は、県内外に広く知られるようになってまいりました。

2017年には、酒井先生の功績が認められ「田辺市文化賞」を受賞されました。その頃は、高齢になって居場所に来られることが少なくなっていました。先生が座ってくださるだけで、私たちは温かくほっこりと癒される気分になりました。かつて利用者だった青年たちが、就職してひなたの森を卒業していく姿を先生に見てもらいたかったなど、しみじみと感じます。

先生の思いがどこまで実現できたのだろうと考えますが、私たちに残された者たちは先生の意志を引き継ぎ、皆が少しでも生きやすい社会を創っていきたくて思っております。

酒井先生、安らかに眠りください。

